

品川てづくり市 あす開催

東海道五十三次最初の宿場町として栄えた品川宿のファンの女性たちが、若手作家らの工芸品などを展示・販売する「品川てづくり市」を、11日に品川神社(品川区北品川3)で初めて開く。実現に奔走した薄葉聖

子さん(44)は「品川宿に入が集まるきっかけになれば」と話している。約3年半前からこの地域に住んでいる薄葉さんが、祭りや土産物店を手伝う中で、「若手作家が作品を披露する場が品川に少ない」

と感じ、「品川てづくり市の会」を発足させた。友人や商店会の協力も得たほか、品川神社も趣旨に賛同して会場を提供してくれた。薄葉さんが各地のイベントを巡る中で出会った若手作家ら約80人が、木工品や陶芸品、余った布で作った袋やコースターなどを展示、販売する。11日午前9

時から午後4時(雨天中止)。2月以降も第2日曜日に開く。問い合わせは(nfo@shinagawa-tezukurichi.com)へ。